

教材を見る目、使う力を養う ～学習者が学びたくなる教室活動をめざして～

「日本語教育の参照枠」が出されてから、日本語学習支援を見直す動きが出てきています。今回の研修では、参照枠を具現化した教材と言われる『できる日本語 初級』や『漢字たまご』を使って、学習者も支援者も「わくわくする授業」の実現のために、どのような工夫があるのかについて、考えていきたいと思います。どうぞ明日の教室活動のヒントもたくさんお持ち帰りください。(講師より)

開催日時:2024年11月9日(土)14:00～16:00
開催場所:日野市生活保健センター 講座室

<https://hifa-info.org/access/>

講師:嶋田和子先生



http://www.acras.jp/?page_id=12667

★プロフィール★

アクラス日本語教育研究所代表理事／杉並区総括コーディネーター
長年、日本語学校にて教育責任者を務め、大学や地域日本語教室にも関わる。2021年より、杉並区子ども日本語教室立ち上げを依頼され、交流協会・区役所・教育委員会との連携のもと、企画運営に携わる。著書は「できる日本語」シリーズ(アルク・凡人社)、『外国にルーツを持つ女性たち 彼女たちの「こころの声」を聴こう!』(ココ出版)、『人とつながる介護の日本語』(アルク)など多数。

<http://www.dekirunihongo.jp/>

- ◆受講対象 HIFA日本語教室ボランティア
HIFA一般会員とくちこみによるトライアル参加
日野国際友好クラブボランティア
- ◆参加費 無料
- ◆申込み 11月2日(土)までに HIFA事務局(1F)
または事務局のアドレスへ、メールでお申込み下さい。
(定員50名を予定。)
申込時、氏名・所属・メールアドレスをお伝えください。

☎042-586-9511

✉ hifa-office@ab.auone-net.jp

